

ご挨拶

寿命50年頃の日本人は、一生の終わり頃に一つ疾患を持ち、治れば生活でき、治らなければ落命しました。そのため、当時の医療の目標は疾患治療でした。

一方、寿命90年となった現代の日本人では、一生で何度も複数の疾患に罹り、それらが治らず、生活に支障を来すようになりました。

生活機能の維持には、低栄養からのサルコペニアの防止が必要で、腸管運動を促して栄養吸収できるようにすることが重要です。腸管運動を促す食事とは、口での咀嚼を必要とする物性の食事ですが、加齢に伴い口の機能が低下するため、食物を誤嚥しやすくなり、肺炎に至るリスクも高くなります。

肺炎を患うと、非経口摂取にされることが多く、腸管運動は弱くなり栄養吸収率が低下し、サルコペニアを経てフレイルとなります。したがって、肺炎や窒息を予防して口から食事を摂ることが重要になります。

一般的にリスクがあるとされた場合、「刻み食」「ペースト食」「とろみ食」等の高リスクの食事が提供されます。窒息事故や誤嚥性肺炎は防止できず、裁判となる場合もあり、施設の評価を貶めることにもなります。

TOUCHでは、利用者の口から食べる機能と提供される施設サービスの内容を評価して、生活参加を支援するサービスの質の向上のためのスキルアッププログラムを提供しています。貴施設の評価向上のためのお手伝いをさせていただきたいと思っています。

代表 舘村 卓

代表者プロフィール

代表 舘村 卓
(歯科医師/日本口腔外科学会指導医)



- '81年 大阪大学歯学部卒
- '85年 同大学院修了(歯学博士)
- '07年 (一社)TOUCH 代表理事
- '18年 TOUCH 口腔機能回復センター設立
40年にわたり、大阪大学大学院歯学研究科/
同附属病院にて、口腔機能(音声言語/摂食咀嚼嚥下)の障害に関する生理学的研究と臨床に携わってきた。

代表者著書の一部

摂食嚥下障害のキュアとケア(医歯薬出版)
口蓋帆・咽頭閉鎖不全(医歯薬出版)
口腔ケアプログラムのつくり方(永末書店)



一般社団法人 TOUCH

〒563-0017 大阪府池田市伏尾台 5-8-3
TEL 072-741-0422 FAX 072-741-0448
mail touch_care@leto.eonet.ne.jp
WEB <http://www.touch-sss.net/>



HPIはこちらから



Mailはこちらから

Team for Oral Unlimited Care and Health

一般社団法人

TOUCH

TOUCHは

窒息事故「ゼロ」

誤嚥性肺炎「ゼロ」

を目指す施設の味方です。

施設利用者さんが安全快適に口から食事を摂って生活参加できることを支援する職員さんの技能向上のお手伝いをします。



限界なき口腔ケアと健康のための医療福祉団

よく見られる、以下のことは正しいでしょうか？

- 部屋から食堂まで車いすで移動し、車いすのまま食事している。
- 姿勢が安定するように椅子に深く腰掛けさせている。
- 背もたれと背中の中に隙間があるのでクッションを入れている。
- 落としてはいけないので食器をテーブルに置いたままで食事してもらっている。
- 口からこぼすので、上半身を後ろに倒して食事している。
- ベッドでの食事時は30度ギャッチアップしている。
- 義歯が合わないので外して刻み食にしている。
- 上下総義歯がないので液体の栄養剤を提供している。
- 入院中は非経口摂取であったが、退院後は入院前と同じ食事に戻した。
- 常食の方なので朝食はパンにしている。
- むせるので「とろみ」を付けている。
- 歯が無いので口腔ケアはガーゼで拭うだけ。
- 口腔ケアの際にヨード製剤を使っている。

**！ 以上の全ては、無定見に行われると、
大変危険です！
命に関わります！**

安全・快適に口から食事をするために必要なことは

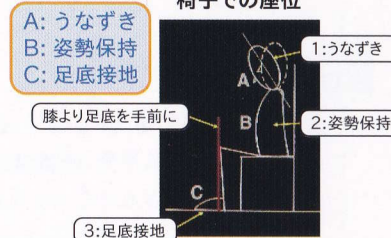
- ①呼吸路の安全性の確保
- ②口腔咽頭機能の賦活
- ③食物物性と一口量の調整

■ TOUCHではこれら3つの実践のための技術を理論からご指導します

①呼吸路の安全性確保の方法

- ・シーティングと姿勢の調整法
- ・イス・テーブル関係の調整法
- ・ベッド上での適切な姿勢調整等

誤嚥防止姿勢(3点セット)
椅子での座位



②口腔咽頭機能の賦活方法

- ・口腔生理学に基づいた口の機能訓練の方法
- ・治療的・維持的、機能療法・口腔ケアの組み合わせ方法
- ・プログラムのための口の機能の評価方法等



③食物物性と一口量の調整方法

- ・舌と口唇の運動様相による物性調整と一口量の調整の方法
- ・口腔機能の様相と離乳食に準じた物性調整の方法

舌	口唇閉鎖	舌
前後	弱い	初期食
上下	強い	中期食
左右	強い	後期食

サービスの概要

まず、会員契約を結ばさせていただきます。会員契約ではなく、個別の利用者さんの食事の問題に、単一回のスポットでの対応も行っていますが、当座の問題が解決しても、スタッフさんの技能の向上には効果が小さく、継続してご指導させていただきたいからです。

①会員のメリット

- ・1カ月に2件までお困りの事例についてのご相談をお受けし、ビデオ、写真、メール等を使って遠隔的にご指導します。
- ・会員施設からはTOUCH主催の年4回セミナーに2名まで無料で参加していただけます。
- ・別途料金になりますが、必要時にはOJTサービスを行います。

②OJTサービス(会員のみの別サービス)

- ・相談事例について、実地指導が必要な場合には所員が出向き、OJT (On the Job Training) させていただきます。
- ・指導後も定期的に経過観察し、都度ごとに必要な対応法を指導いたします。

③スキルアッププログラムの提供(会員のみの別サービス)

- ・フレイル防止を目標とする経口摂取の支援の理論と技術を習得する実習付プログラムを提供します。
- ・開催日程や時間等は打合せさせていただきます。

料金等の詳細は、

<http://www.touch-sss.net/>
もしくは、072-741-0422 まで

実績

1. 川西市歯科医師会訪問歯科センター
2. 熊本県ハロー歯科および提携施設
3. 大阪府歯科医師会CPセンター
4. 大分県歯科医師会
5. 沖縄県歯科医師会
6. 高知県歯科医師会
7. 鳥取県西部歯科医師会
8. 守口市歯科医師会 他